

認知症になっても自分らしく暮らせるように ～認知症月間～

問高齢介護課 ☎0176-51-6720

平成6年に、国際アルツハイマー病協会とWHO（世界保健機関）が共同で毎年9月21日を「世界アルツハイマーデー」と制定したことを受け、日本でも「共生社会の実現を推進するための認知症基本法」において認知症への関心と理解を深めるために、毎年9月を「認知症月間」、9月21日を「認知症の日」と定めています。

認知症とは

認知症は病気の一つで、認知機能が低下し日常生活に支障をきたす状態のことをいいます。厚生労働省では、令和4年に高齢者の3.6人に1人が認知症またはその予備群と予測しており、誰でもなりうる病気として身近に感じられるようになりました。

「認知症になったから何もできなくなる」ではありません。その人が個人としてできることや、それぞれにやりたいことができ、住み慣れた地域で共に暮らし続けることができる社会を一緒に目指していきましょう。



市の取り組み

ガイドブックの作成・配布

認知症と診断された人が、これからも住み慣れた自宅で過ごすことができるように、ガイドブックを作成し、高齢介護課窓口、地域包括支援センター、在宅介護支援センターなどで配布しています。

本人用もの忘れガイド

ともにわらってだいじょうぶ

内容 相談窓口や医療機関、当事者の声など

データ版をこちらから
閲覧できます▶



十和田市認知症ケアパス

内容 相談窓口、認知症の進行状況に合った支援方法など

データ版をこちらから
閲覧できます▶



身元情報の事前登録 はいかい 十和田市徘徊高齢者等支援事業

認知症などにより自宅に戻れなくなる心配のある高齢者などの情報を事前に登録し、市と十和田警察署が情報共有することで保護されたときに早急に身元確認ができるようにします。また、行方不明になった際は、家族などの同意を得て、市LINE公式アカウントを利用して捜索協力依頼を配信します。

対象者 認知症などにより行方不明になる心配のある65歳以上の人、
若年性認知症の人など

登録者には登録番号を記載した
「みまもりキーホルダー」「みまもり
シール」「反射材」を差し上げます



▲キーホルダーの見本

市LINE公式アカウントに登録している皆さんへ

行方不明者の早期発見のため、「行方不明者」の受信設定をお願いします。
※市LINE公式アカウント内の「くらし」タブの「受信設定」から設定を変更
できます。

GPS端末利用の初期費用を助成 十和田市認知症高齢者等位置情報サービス利用助成事業

認知症などにより自宅に戻れなくなる心配のある人を介護している家族などを対象に、GPS端末を利用した位置情報通知サービスの初期費用を助成します。

対象者 GPS端末を利用する人のうち、①～③の全てに当てはまる人 **助成金額** 11,000円（最大）

- ① 十和田市民で入院や施設入所をしていない人
- ② 介護保険料の滞納がない人
- ③ 十和田市徘徊高齢者等支援事業に登録している人

